

令和6年度

事業計画書

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

## 令和6年度事業計画

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団は、県内における健康診断・検査事業の中核的な機関として、「すべての人々の健康を願って」をスローガンに、顧客満足度の向上を心がけ、県民の皆様の健康の保持・増進に努めてきた。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へ移行したことに伴い、市町村及び各地区医師会と連携し積極的に受診勧奨を行った結果、コロナ禍以降大きく減少した受診者数について、一定の回復を図ることができた。

一方、物価上昇による健診資材の値上げや賃金の上昇に伴う人件費の増大は、事業団経営に大きな影響を及ぼし、令和6年度の収支予算では経常収支の赤字を余儀なくされるに至った。

そのため、令和6年度はこれまで以上に収入の確保と支出の削減に取り組む、事業団経営の安定化を図る必要がある。さらに、顧客ニーズを的確に捉え、これまで以上に受診者・受験者の満足度向上を図っていく必要もある。

令和6年度は、中期経営計画（令和4年度～令和6年度）の最終年度であることから、計画に掲げた目標の達成を目指し、役・職員が一丸となって取り組んでいく。

## 1 健(検)診及び検査事業

### (1) 地域保健事業

地域住民の健康の保持・増進を図るため、市町村や各地区医師会と連携し、特定健康診査、結核検診、各種がん検診などの健(検)診・検査を実施する。

中期経営計画(令和4年度～6年度)に掲げた「コロナ禍前の受診者数9割回復」を目指し、時間当たりの受診者数をコロナ禍前の水準に戻していくとともに、事業団ホームページやラジオCM(FM NACK 5)、広告看板を活用し、地域住民へ広く受診を呼びかける。

#### 【地域保健事業の健(検)診・検査数】

項目	令和6年度	令和5年度	増減数	増減率(%)
特定健康診査	7,800人	8,000人	▲200人	▲2.5
一般健診	750人	1,250人	▲500人	▲40.0
結核検診	36,500人	24,820人	11,680人	47.0
肺がん検診	41,000人	38,000人	3,000人	7.8
胃がん検診	30,000人	34,000人	▲4,000人	▲11.7
子宮がん検診	10,000人	9,500人	500人	5.2
乳がん検診	32,000人	35,400人	▲3,400人	▲9.6
大腸がん検診	19,000人	18,500人	500人	2.7
前立腺がん検査	4,200件	4,750件	▲550件	▲11.5
骨粗しょう症検診	6,500人	3,600人	2,900人	80.5
特定保健指導	10人	10人	0人	0.0
福祉施設健診	9,300人	9,350人	▲50人	▲0.5
合計	197,060人/件	187,180人/件	9,880人/件	5.2

### (2) 職域保健事業

勤労者の安全と健康の保持・増進を図るため、職場での一般健診、結核検診、各種がん検診、特定保健指導などを実施する。

令和6年度は、顧客への特定保健指導の提案や作業環境測定結果に基づいた健診項目の提案など、職場で働く人々の健康をトータルでサポートしていく。

また、一般健診(定期健診・特定健康診査)実施時におけるオプション検査(がん検診・肝機能検査など)も積極的に提案し、収入の確保に努める。

#### 【職域保健事業の健(検)診・検査数】

項目	令和6年度	令和5年度	増減数	増減率(%)
一般健診	94,300人	97,800人	▲3,500人	▲3.5
特殊健診	24,000人	24,500人	▲500人	▲2.0
結核検診	9,000人	7,700人	1,300人	16.8

項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増減数	増減率 (%)
肺がん検診	1,000 人	1,100 人	▲100 人	▲9.0
胃がん検診	7,000 人	6,600 人	400 人	6.0
子宮がん検診	1,400 人	1,380 人	20 人	1.4
乳がん検診	1,300 人	1,300 人	0 人	0.0
大腸がん検診	17,500 人	17,000 人	500 人	2.9
前立腺がん検査	1,000 件	1,000 件	0 件	0.0
特定保健指導	1,050 人	900 人	150 人	16.6
細菌検査	11,000 件	12,000 件	▲1,000 件	▲8.3
合 計	168,550 人/件	171,280 人/件	▲2,730 人/件	▲1.5

### (3) 学校保健事業

児童・生徒の疾病の予防や早期発見を図るため、学校保健安全法に基づく結核検診、尿検査、心機能検査などの各種健（検）診・検査を実施する。

児童・生徒数の減少に伴い、受診者数は減少となる見込みであるが、市町村の需要が高い法定外項目（脊柱側わん検査や貧血検査など）の受託を目指していく。

#### 【学校保健事業の健（検）診・検査数】

項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増減数	増減率 (%)
一般健診	8,400 人	9,000 人	▲600 人	▲6.6
結核検診	42,500 人	42,000 人	500 人	1.1
寄生虫卵検査	1,800 件	2,000 件	▲200 件	▲10.0
尿検査	235,000 件	269,500 件	▲34,500 件	▲12.8
小児生活習慣病予防健診	6,400 人	7,250 人	▲850 人	▲11.7
貧血検査	9,400 件	8,200 件	1,200 件	14.6
心機能検査	70,000 件	70,200 件	▲200 件	▲0.2
脊柱側わん検査	26,000 件	25,500 件	500 件	1.9
合 計	399,500 人/件	433,650 人/件	▲34,150 人/件	▲7.8

### (4) 精度管理

各種健（検）診・検査のより一層の精度向上を図るため、埼玉県医師会臨床検査精度管理事業、全国労働衛生団体連合会エックス線写真精度管理調査等の精度管理事業へ積極的に参加する。

また、全国労働衛生団体連合会が定める労働衛生サービス機能評価制度の優良健診機関として、引き続き精度を維持していく。

## 2 指導事業

市町村や事業所等の保健事業を支援するため、産業医による一般指導、医師・保健師による講演・保健指導、健康運動指導士による運動指導を行っていく。

また、令和6年度は、運動指導動画を事業団ホームページに掲載するとともに、生活習慣病の予防・改善を目的として運動指導・保健指導を提案していく。

【指導事業の指導数】

(単位：回)

項目	令和6年度	令和5年度	増減数	増減率(%)
一般指導(産業医)	250	265	▲15	▲5.6
講演・保健指導(医師・保健師)	15	10	5	50.0
運動指導(健康運動指導士)	35	20	15	75.0
合計	300	295	5	1.6

## 3 作業環境測定・技能講習事業

### (1) 作業環境測定事業

労働安全衛生法に定める作業環境測定を通じて、適正な職場環境の確保・維持に向けたアドバイスを行うとともに、幼稚園・保育園、学校、公共施設などにおける有害物質の測定・分析等を実施する。

今後、リスクマネジメント実施義務対象物質が増加(674物質→令和8年度までに約2,900物質)することから、受託に向けた積極的な営業活動を行っていく。

【作業環境測定事業の事業所数】

項目	令和6年度	令和5年度	増減数	増減率(%)
作業環境測定	190	190	0	0.0
環境計量証明・試料分析等	80	80	0	0.0
合計	270	270	0	0.0

### (2) 技能講習事業

有害物質を取り扱う作業場における健康障害及びその予防措置、作業環境の改善方法などの講習を実施し、作業主任者の養成に努める。

【技能講習事業の受講者数】

(単位：人)

項目	令和6年度	令和5年度	増減数	増減率(%)
鉛作業主任者技能講習	10	10	0	0.0
特化物等作業主任者技能講習	50	180	▲130	▲72.2

項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増減数	増減率 (%)
有機溶剤作業主任者技能講習	50	80	▲ 30	▲ 37. 5
石綿作業主任者技能講習	90	110	▲ 20	▲ 18. 1
合 計	200	380	▲ 180	▲ 47. 3

#### 4 広報・普及啓発事業

##### (1) 積極的な広報の展開

事業団ホームページからの各種健診、特定保健指導、作業主任者技能講習等の予約受付を開始するとともに、積極的な情報発信によりアクセス数の増加を目指す。

また、事業団PR動画やラジオCM（FM NACK5）、広告看板を活用し、広く事業団活動を発信していく。

##### (2) 複十字シール運動

公益財団法人結核予防会が実施している「複十字シール運動」（8月～12月）に埼玉県支部として参画する。

埼玉県、市町村、医療機関、関係諸団体、事業所等に広く募金の協力を呼びかけるとともに、結核・肺がん・COPDなどの呼吸器疾患の予防に係る啓発活動を実施する。

##### (3) 結核予防週間及びがん征圧月間における啓発活動

「結核予防週間」（9月24日から30日まで）及び「がん征圧月間」（9月）における啓発活動として、埼玉県、市町村、医療機関、関係諸団体、事業所等へポスター、パンフレットを配布するとともに、SNSを活用し広く検診受診の重要性を呼びかける。

##### (4) 視聴覚教材の貸出し・啓発資材等の提供

結核、がん等に係るDVDやパネル、乳房模型等の視聴覚教材の無料貸出しを行う。また、各種リーフレット等の健診結果への同封やイベントでの配布を行うことにより、疾病についての正しい知識の普及を図るとともに、健康診断の受診と疾病の早期発見の重要性をPRする。

##### (5) ピンクリボン活動

ピンクリボン活動を後援し、リーフレット等の提供などを通して乳がんの正しい知識の普及を図るとともに、乳がんの予防・早期発見を支援する。

##### (6) 乳がんをなくすほほえみ基金

公益財団法人日本対がん協会が実施している「乳がんをなくすほほえみ基金」の活動に埼玉県支部として参画し、乳がん検診無料クーポン券の配布や検診の実施により、受診率の向上を図る。

##### (7) リレー・フォー・ライフ

さいたま市、川越市、所沢市で行われている「リレー・フォー・ライフ（がん患者

支援のための事業)」に参加し、啓発資材（リーフレット・冊子）の配布や乳房模型・パネル等の展示、無料がん検診を実施する。

#### **(8) 実習生の受入れ**

保健師、看護師などの業務に従事しようとする学生を支援するため、実習施設として医療系大学等の実習生を受け入れる。

### **5 その他**

#### **(1) 業務の効率化**

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の活用による健診結果作成業務の自動化、旅費・経費精算システムやAI議事録生成装置等の導入による業務の効率化・迅速化を目指す。

#### **(2) 働きやすい職場づくり**

職員の労働生産性の向上を図り、時間外勤務の縮減と年次有給休暇の取得促進に取り組む。

#### **(3) 検査機器・ソフトウェア等の購入**

健（検）診・検査の精度維持・向上等のため、検査機器やソフトウェア等を整備・更新する（胃・胸部エックス線検診車1台、経膈超音波検査装置1台、胸部AI診断支援システム、心電図電子化システムなど）。

#### **(4) がん征圧全国大会（埼玉大会）の主催**

9月12日（木）、13日（金）の2日間、日本対がん協会と共催で、「がん征圧全国大会（埼玉大会）」をパレスホテル大宮・ソニックシティで開催する。

<大会の概要>

9月12日（木）：支部長会議、シンポジウム、レセプション

9月13日（金）：式典、記念講演、開催県アピール など